

## 目標達成計画

作成日：平成 29年 11月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1の1	職員全員で理念を共有し、理念に基づいたサービスを提供できているとは言えない。	理念を実践していくため、年度事業計画にある具体的実行計画を職員全員で実行することができる。	次年度の事業計画作成時に実行可能な具体的計画を盛り込み、職員全員に周知し実現を目指す。	12ヶ月
2	26の13	入居者の目指すゴールや今「何がしたい」のか、一部の職員しか把握できていない。また、どの程度実現できているのか、職員間で共有できていない。	入居者のゴールや「～したい」ことが何なのか、職員全員が把握してサービス提供できると共に、目標実現の進捗状況がわかるようなモニタリング記録がある。	その日の申し送り日誌の左のページに、入居者のケアプランに則った長期目標・短期目標を一覧表にしたものを用意し常に入居者のゴールや「～したい」ことを意識してケアに取り組むようにする。又目標に即したケアができたときには日誌に番号を記入していくようにする。	3ヶ月
3	23の12	”笑いのある楽しい雰囲気づくり”を続けていくための、具体的な方策がない。	”笑いのある楽しい雰囲気づくり”が積極的に続けられる。	入居者が思わず笑顔になったときやフロア中みんなで笑い合えたこと等を付箋に書き、タイムカード横のボードに張り付け、職員間で共有、次の支援につなげていく。	3ヶ月
4	11の10	年度事業計画に沿い、様々な行事を実施したり多くの地域活動にも参加しているが、毎年の計画の見直しに一部の職員の意見、提案しか反映されていない。	年度事業計画の行事や地域活動について、多くの職員の意見、提案を生かした計画を毎年作ることができる。	行事や地域活動参加の計画に職員意見、提案をより生かしていくために、出来る限り地域行事に多くの職員に参加してもらい、意見を聞く。	4～12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。